

市内で行われた活動やイベントを紹介します。

まちの顔

MACHI NO KAO

第13回 能登よさこい祭り

6月6日(土)・7日(日)



大賞受賞チーム「花鳥風月」の演舞



踊り狂って、みんな盛り上がり！



演舞に合わせ三味線の演奏も



大きく上に飛び跳ね、最高潮！



「よさこい」なのに、花魁も登場



鳴子両手によお一踊るー♪



雄たけびが和倉中に響き渡る！



踊りに酔いしれ、満足げな表情



手足をそろえ、前へ突き進め！

和倉温泉を会場として、今年で13回を数える「能登よさこい祭り」。年々各チームの色とりどりの衣装と踊りで多くの見物客を魅了している。地元和倉の老人グループや保育園児からなるチームなど老若男女いろんな世代からの参加者がいた。

この「よさこい」は、鳴子を手に街に賑わいを取り戻すために高知県で生まれた祭りである。「能登よさこい祭り」も和倉温泉だけでなく、能登半島全体が盛り上がり、地域の活性化につなげたい。この祭りの今後さらなる発展を心から望んでいる。

モモ MOMO

石川県立中島高等学校
普通科演劇コース8期生
最後の卒業公演

6月19日(金)・20日(土)



主人公のモモを演じる青木友里さん



白い衣装で華麗な踊りをみせる生徒



緊迫した中での2人の演技



演技終了後、お礼の言葉を述べる
生徒代表の北原翔一郎さん



みんなでモモを迎えるための歌を歌うシーン



「灰色の男」を演じる男子生徒のダンスシーン

お世話いただいた方々へ感謝の思いを込めて生徒代表があいさつ。会場から割れんばかりの拍手が惜しみなく生徒たちに送られ、感動の渦に巻き込まれつつ、最後の卒業公演の幕は閉じた。

石川県立中島高等学校普通科演劇コース8期生26人の卒業公演が2日間に渡って行われた。今年度で閉校となる同校にとっては、最後の卒業公演。生徒たちは恥ずかしくない演技をするために休みの日も稽古に励んでいた。

最後の舞台上に披露する劇は「MOMO」。忙しい時の中で生きることを本質を忘れてしまった人々に対する意味合いの深い内容は、最後の卒業公演にふさわしい劇だと。



ラストシーンは、ステージ後ろの扉が開き、感動の中、全員が大声で歌う



5月19日:天神山小学校

5月21日:田鶴浜小学校

天神山小学校6年生82人と田鶴浜小学校4年生52名が平成21年度「人権の花」運動と題して、『思いやりの心を育てよう』と書かれたプランターにサルビアやペコニアなどの花を植えた。毎朝、花に水をあげたりすることで、思いやりのある心をもった人間になってくださいね。

「花を育てて豊かな心を」
「人権の花」運動



6月4日:町屋町

高階地区では、地元が栽培する菜の花の菜種をたい肥にして、菜の花米づくりに取り組んでいる。その田んぼで、高階小学校4・5・6年生22人が一苗ずつ丁寧に田植えをした。今後は、除草作業や稲刈りに取り組む予定となっている。「おいしいお米になりますように！」

「おいしく実って！菜の花米」
高階小学校4・5・6年生



5月24日:観音崎灯台

子どもたちの太鼓演奏をスタートとして、観音崎灯台周辺で崎山灯台まつりが今年も行われた。観音崎灯台は、通常入ることが出来ないが、まつりに合わせて七尾海上保安部が毎年、一般公開している。その他、地元太鼓団体や舞踊団体などが会場を盛り上げた。

「崎山地区のシンボルとして」
崎山灯台まつり



6月12日:藤橋町

本宮保育園の年長児14人が、毎年古代米の稲穂で文字や絵を作っている山田重隆さんの田んぼで田植えを行った。園児たちは、初めて田んぼに入って興奮していた様子。一生懸命に苗を植えて「楽しかった」と。今年の作品は、出来てのお楽しみということで、穂が実る9月が待ち遠しい。

「古代米の田植えしたよー」
本宮保育園 年長児



6月7日:七尾サンライフプラザ

6月4日(木)から1週間「歯の衛生週間」に合わせて、七尾歯科医師会の協力により歯科健康フェスティバルが行われた。虫歯にならないよう、子どものうちからしっかりした歯磨きができるように歯科医師や歯科衛生士の方たちが親切に子どもたちに指導していた。

「毎日の丁寧な歯磨きを！」
歯科健康フェスティバル



6月13・14日:中島町小牧

外・小牧の虫送りは、田んぼの害虫を退治する行事として今なお続けられており、今回初めて参加した県立大学の学生たちも興味深げに取り組んだ。このような伝統行事を続けていけるのも、地元の壮年団をはじめとする住民の、地元を愛する熱い思いに他ならないのでは。

「どろ虫 出てけえー」
中島町 外・小牧の虫送り